

[慣用句シリーズ] 慣用句1(動物)

年 組 氏名

「烏の行水」は、広く一般に「入浴をすばやく簡単にすませること」などの意味で使われます。このように全く異なる意味を持つ表現を慣用句といいます。

<問題>

動物に関する慣用句を完成させましょう。

(できるだけ漢字で書きましょう。わからなければ、ひらがなでもかまいません)

① () がいい。 自分の都合だけを考えて勝手だ。

② () が合う。 気が合う。

③ () の手も借りたい。 とても忙しい。

④ () を読む。 数をごまかす。

⑤ () の涙。 ほんのわずかなこと。

⑥ () の一声。 有力者や権威者の否応なく周囲を従わせる一言。

<問題>①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句1(動物)

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (虫) がいい。 自分の都合だけを考えて勝手だ。
- ② (馬) が合う。 気が合う。
- ③ (猫) の手も借りたい。 とても忙しい。
- ④ (鯖(さば)) を読む。 数をごまかす。
- ⑤ (雀(すずめ)) の涙。 ほんのわずかなこと。
- ⑥ (鶴) の一声。 有力者や権威者の否応なく周囲を従わせる一言。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句3(性格・態度)

年 組 氏名

【性格・態度をあらわす慣用句】

前回に引き続き慣用句の学習です。今回は、性格や態度をあらわす慣用句について学習しましょう。

〈問題〉

性格や態度をあらわす慣用句を完成させましょう。

(できるだけ漢字で書きましょう。わからなければ、ひらがなでもかまいません)

- ① () の鳴くような。・・・蚊の羽音のようなかすかな声。
- ② () を預ける。・・・相手に対応を任せる。
- ③ () を掛ける。・・・さらに程度を大きくする。誇張する。
- ④ () の遠吠え。・・・臆病者が陰で威張ったり、他人を非難したりする。
- ⑤ 借りてきた () 。・・・普段と違って、非常におとなしい様子。
- ⑥ 井の中の () 。・・・ひとりよがりで見識がなく、世の中を知らない。

〈問題〉①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句3(性格・態度)

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (蚊) の鳴くような。・・・蚊の羽音のようなかすかな声。
- ② (下駄) を預ける。・・・相手に対応を任せる。
- ③ (輪) を掛ける。・・・さらに程度を大きくする。誇張する。
- ④ (犬) の遠吠え。・・・臆病者が陰で威張ったり、他人を非難したりする。
- ⑤ 借りてきた (猫) 。・・・普段と違って、非常におとなしい様子。
- ⑥ 井の中の (蛙) 。・・・ひとりよがりで見識がなく、世の中を知らない。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句4(行動・動作)

年 組 氏名

【行動・動作をあらわす慣用句】

「面と向かう」とは、正面から直接相対する、相手に直接何かを言う、という意味です。ここではこのように、行動や動作をあらわす慣用句について学習しましょう。

〈問題〉

行動や動作をあらわす慣用句を完成させましょう。

()内に入ることばを考えましょう。

- ① () を食う。 好ましくない人々が、そこを根城にしている。
- ② () に抱っこ。 人に甘えて、何もかも頼ろうとすること。
- ③ () をとる。 団体の中心となって支配する。
- ④ () の致すところ。 . . 失敗や事故の原因を自分の責任として謝罪する。
- ⑤ () を散らす。 互いに力を尽くして激しく争う様子。
- ⑥ () を忘れる。 ひどく動揺して、その場の状況が判断できない。

〈問題〉①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句4(行動・動作)

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (巢) を食う。・・・好ましくない人々が、そこを根城にしている。
- ② (おんぶ) に抱っこ。・・・人に甘えて、何もかも頼ろうとすること。
- ③ (牛耳) をとる。・・・団体の中心となって支配する。
- ④ (不徳) の致すところ。・・・失敗や事故の原因を自分の責任として謝罪する。
- ⑤ (火花) を散らす。・・・互いに力を尽くして激しく争う様子。
- ⑥ (前後) を忘れる。・・・ひどく動揺して、その場の状況が判断できない。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句5(状態・程度)

年 組 氏名

【状態・程度・価値をあらわす慣用句】

「火を見るより明らか」とは、疑問の余地がないほど、きわめてはっきりしているという意味です。ここではこのように、状態や程度や価値をあらわす慣用句について学習しましょう。

〈問題〉

状態や程度や価値をあらわす慣用句を完成させましょう。

()内に入ることばを考えましょう。

- ① () の一角。・・・物事の大部分は隠されていて、ごく一部が現れている。
- ② () に出る。・・・よかれと思ってしたことが、反対の結果になる。
- ③ () の弾み。・・・ことの成り行き上。その場の勢い。
- ④ () と () が一緒に来たよう。・・・きわめて忙しい様子。
- ⑤ () になる。・・・見栄えがいい。その場にぴったりはまっている。
- ⑥ () の目。・・・激しく揺れ動く物事を中心となる勢力や人物。

〈問題〉①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句5(状態・程度)

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (氷山) の一角。・・・物事の大部分は隠されていて、ごく一部が現れている。
- ② (裏目) に出る。・・・よかれと思ってしたことが、反対の結果になる。
- ③ (物) の弾み。・・・ことの成り行き上。その場の勢い。
- ④ (盆) と (正月) が一緒に来たよう。・・・きわめて忙しい様子。
- ⑤ (絵) になる。・・・見栄えがいい。その場にぴったりはまっている。
- ⑥ (台風) の目。・・・激しく揺れ動く物事を中心となる勢力や人物。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句6(社会・文化)

年 組 氏名

【社会・文化・生活をあらわす慣用句】

「風の便り」とは、ある人の消息などについて、どこからともなく話を聞くという意味です。ここではこのように、社会や文化や生活をあらわす慣用句について学習しましょう。

〈問題〉

社会や文化や生活をあらわす慣用句を完成させましょう。

()内に入ることばを考えましょう。

- ①見る()もない。・・・衰れでみすぼらしい状態であること。
- ②()を売る。・・・相手から感謝されることを期待して何かをしてやる。
- ③()の銘。・・・つねに心にとめている戒めのことば。
- ④()の子。・・・使わずに大切にしまっているもの。
- ⑤住めば()。・・・住み慣れればどんなところでも楽しく暮らせること。
- ⑥()知らず。・・・相場や物価があがりどこまでいくかわからないこと。

〈問題〉①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句6(社会・文化)

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ①見る（影）もない。・・・衰れでみすぼらしい状態であること。
- ②（恩）を売る。・・・相手から感謝されることを期待して何かをしてやる。
- ③（座右くぎゆう）の銘くめい。・・・つねに心にとめている戒めのことば。
- ④（虎）の子。・・・使わずに大切にしまっているもの。
- ⑤住めば（都）。・・・住み慣れればどんなところでも楽しく暮らせること。
- ⑥（天井）知らず。・・・相場や物価があがりどこまでいくかわからないこと。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句7(植物)

年 組 氏名

【植物に関する慣用句】

「根も葉もない」とは、全く根拠がないという意味。
ここではこのように、植物に関する慣用句について学習しましょう。

〈問題〉

植物に関する慣用句を完成させましょう。
()内に入る植物にかかわることばを考えましょう。

- ① () から棒。・・・突然に物事を行うこと。
- ② () を食う。・・・途中で他のことをする。
- ③ () 二つ。・・・そっくりなさま。
- ④ 雨後の () 。・・・似たようなものが、ぞくぞくと出てくること。
- ⑤ () を濁す。・・・いいかげんなことを言って、その場を切り抜ける。
- ⑥ () に () をつぐ。・・・ちぐはぐな様子。

〈問題〉①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句7(植物)

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (藪くやぶ) から棒。・・・突然に物事を行うこと。
- ② (道草) を食う。・・・途中で他のことをする。
- ③ (瓜) 二つ。・・・そっくりなさま。
- ④ 雨後の(筍くたけのこ)。・・・似たようなものが、ぞくぞくと出てくること。
- ⑤ (お茶) を濁す。・・・いいかげんなことを言って、その場を切り抜ける。
- ⑥ (木) に(竹) をつぐ。・・・ちぐはぐな様子。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句8(色)

年 組 氏名

【色に関する慣用句】

「青息吐息」とは、弱りきったり、困りきったりしてつくため息のこと。また、そのような状態。ここではこのように、色に関する慣用句について学習しましょう。

〈問題〉

色に関する慣用句を完成させましょう。

()内に入る色にかかわることばを考えましょう。

- ① () の他人。・・・全くかかわりのない人。
- ② () を入れる。・・・文章などを訂正したり、添削したりすること。
- ③ () に戻す。・・・すべてのいきさつをなかったことにし元に戻す。
- ④ () を失う。・・・驚きや恐怖で顔が青ざめること。
- ⑤ () なる。・・・驚いたりおびえたりすること。
- ⑥ () を争う。・・・事の是非をはっきりつける。

〈問題〉①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句8(色)

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (赤) の他人。・・・全くかかわりのない人。
- ② (朱) を入れる。・・・文章などを訂正したり、添削したりすること。
- ③ (白紙) に戻す。・・・すべてのいきさつをなかったことにし元に戻す。
- ④ (色) を失う。・・・驚きや恐怖で顔が青ざめること。
- ⑤ (青く) なる。・・・驚いたりおびえたりすること。
- ⑥ (黒白くこくびやく) を争う。・・・事の是非をはっきりつける。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句9(数)

年 組 氏名

【数に関する慣用句】

今回は、数に関する慣用句について学習しましょう。

〈問題〉

数に関する慣用句を完成させましょう。

()内に入る数にかかわることばを考えましょう。

- ① () をおく。・・・相手の優れていることを認める。
- ② 一から () まで・・・何から何まですべて。
- ③ () の () の言う。・・・あれこれとめんどうなことを言う。
- ④ () 破れ。・・・すきだらけの様子。
- ⑤ () を争う。・・・わずかな時間の余裕もないほど差し迫った状態。
- ⑥ () の不作。・・・生涯において最大の、取り返しのつかない失敗。

〈問題〉①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句9(数)

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (一目) をおく。・・・相手の優れていることを認める。
 ② 一から (十) まで・・・何から何まですべて。
 ③ (四) の (五) の言う。・・・あれこれとめんどうなことを言う。
 ④ (八方) 破れ。・・・すきだらけの様子。
 ⑤ (一刻) を争う。・・・わずかな時間の余裕もないほど差し迫った状態。
 ⑥ (百年) の不作。・・・生涯において最大の、取り返しのつかない失敗。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句10(1～9の復習)

年 組 氏名

【今までの復習】

今回は、今まで学習した慣用句の復習です。

〈問題〉

下の空欄を埋めましょう。(慣用句が抜けているところには慣用句を、意味が抜けているところにはその慣用句の意味を書きましょう)

	慣用句	意味
①		自分の都合だけを考えて勝手だ。
②	絵になる。	
③		普段と違って、非常におとなしい様子。
④	住めば都。	
⑤		驚いたりおびえたりすること。
⑥	一刻を争う。	

〈問題〉①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。(今まで短文を作ったことがない慣用句を選びましょう)

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ] 慣用句10(1～9の復習)

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答		
	慣用句	意味
①	虫がいい。	自分の都合だけを考えて勝手だ。
②	絵になる。	見栄えがいい。その場にぴったりはまっている。
③	借りてきた猫。	普段と違って、非常におとなしい様子。
④	住めば都。	住み慣れればどんなところでも楽しく暮らせること。
⑤	青くなる。	驚いたりおびえたりすること。
⑥	一刻を争う。	わずかな時間の余裕もないほど差し迫った状態。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	